

「ごみ減らし隊」通信

りゅうがさき

平成24年5月

◆ 6月は環境月間です ◆

環境の日および環境月間とは…

6月5日は「環境の日」。そして、6月は環境月間です。環境の日は、1972年6月5日からストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して定められたものです。日本では、1993年11月に環境基本法が制定され、6月5日を環境の日と定め、6月を環境月間として全国各地で環境保全に関する活動が実施されています。

市では、期間中、「市内一斉清掃（3日）」や「環境パネル展示（市庁舎1階ホール／30日まで）」を実施するほか、茨城県が実施する地球温暖化防止に向けた「夏の省エネキャンペーン」の一つ、「大好きいばらきエコチャレンジ」や、環境省が実施する「CO₂削減／ライトダウンキャンペーン」など、様々な環境関連事業に取り組むこととしています。



皆さんも、環境月間を機に、もう一度地球環境について考えてみませんか。

～ごみ集積所・資源物回収ステーションの巡回パトロールを実施します～

市では、6月の1ヶ月間、ごみ集積所や資源物回収ステーションの早朝巡回パトロール（7時30分から8時30分まで）を実施します。ごみ減らし隊の皆さんは、出来る範囲で、集積所等を巡回し、集積所等の使用状況やごみ・資源物の排出状況の把握、適正なごみ排出の指導などに取り組んでいただきますようお願いいたします。



資源物の持ち去り防止にご協力を！

資源物回収ステーションに出された新聞紙などの資源物が、市の収集車両が来る前に持ち去られる事例が発生しています。市では、ステーションに出された資源物は、市に所有権があることを明確化し、市が委託する者以外の者が、みだりに資源物などを持ち去ることを禁止しています。資源物の持ち去り行為を目撃した場合は、日時、場所、車両、持ち去り者などの特徴を記録し、市環境対策課まで情報提供をお願いします。



「ごみ減らし隊」に新たに25名を委嘱

5月12日、市役所で廃棄物減量等推進員（ごみ減らし隊）の説明会が行われました。説明会には、新たに各地区・自治会の推薦を受けた推進員が参加し、委嘱状の交付や活動内容についての説明を受け、ごみ処理の現状などの理解を深めました。

今後も地域のリーダーとしてさらなる活躍が期待されます。



～平成23年度 ごみ質分析調査結果報告～

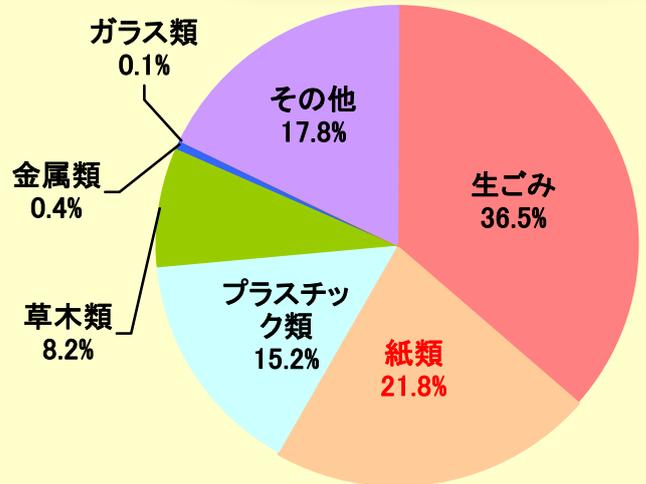
市では、ごみ質の変化や特徴を把握し、効果的なごみ減量化・資源化を図るため、夏と冬の2回、市街化区域、市街化調整区域から集積所を抽出して、収集したごみの分析調査を行っています。



< 家庭系ごみ組成調査の結果 >

平成23年度の燃やすごみで最も大きな割合なのは「生ごみ（36.5%）」で、全体のおよそ3分の1を占めています。次いで、「紙類（21.8%）」「プラスチック類（15.2%）」の順に多く、この3種類で燃やすごみの7割以上となっています。

調査の結果、燃やすごみの中には、ペットボトルや白トレー、紙製の箱などの資源物が多く含まれていました。これらを適正に分別排出することで、かなりのごみの減量につながります。



～ 生ごみの水きり（ひとしほり）にご協力を～

上の燃やすごみ組成調査で、36.5%が生ごみという結果が出ています。平成23年度に家庭から排出された燃やすごみは、18,279トンなので、 $18,279\text{トン} \times 36.5\% = \text{約}6,672\text{トン}$ もの生ごみが家庭から排出されたこととなります。これにより、ごみの減量を図るためには、生ごみを減らすことが大きな鍵を握っていることがわかります。生ごみの減量に向け、まずは生ごみの水切りにチャレンジ！

◆ 生ごみの約80%は「水分」です

水分を含んだ生ごみは、それ自体が重くなるばかりでなく、腐敗して悪臭の原因にもなります。さらに、水分を多く含んだ生ごみを焼却するためには相当な燃料エネルギーを使用します。各家庭で**1日大さじ2～3杯（30～45グラム）の水切りで、年間約300～500トン**の生ごみが減量できることとなります。

- 生ごみを濡らさないようにしましょう。
- 濡れてしまった生ごみは、①新聞紙に一度くるんで水気を取る（新聞紙は乾かして資源へ）、②水切りネットなどを利用して絞る（さまざまな水切りグッズが販売されていますので、ご利用ください）。



新聞紙で水切り



水切りネット

「出前講座」をご利用ください

市では、職員が直接出向き、ごみの減量やリサイクルの重要性などを説明する「出前講座」を実施しています。地区・自治会・各種グループ単位でお申し込みください。講座のメニューは、①ごみ減量とリサイクルのすすめ、②生ごみ堆肥化のはなしの2つです。詳しくは、環境対策課廃棄物対策グループまで。



※「ごみ減らし隊」通信は、龍ヶ崎市廃棄物減量等推進員（ごみ減らし隊）の地域でのごみ減量・リサイクル活動や、市の施策をお知らせするものです。